

ROYAL-TIMES

—ロイヤルホームの新しい生活—



写真= 4Fの向日葵 (2023年8月8日)

9月は癒し?

岡 聖史
2023年 6月 29日

9月がやって来ました。夏の余韻を残しつつ、季節は着実に変わりつつあります。暑さも残っていますが、秋の気配を探しつつ、さまざまな行事やイベントを思い浮かべています。

休みを終え学校や仕事が再開し、新たなスタートを切る人もいるかもしれません。また、自然に目を移すと真夏とは異なった景が広がり、いずれ来る紅葉や秋の花々は心を和ませてくれそうです。夏の疲れを癒し、心地よい風が吹き、そんな秋の訪れを待ち望んでいる今日この頃です。

今月は、8月に取れた野菜についての記事の一つと、アフターコロナの現状についてお伝えしたいと思います。



写真= 収穫した野菜 (2023年 8月9日)

夏野菜とれました

近藤 弘成
2023年9月10日

今年も営繕石原さんが屋上庭園の草木を丁寧に取り除き、土壌にマルチシートを張り、土を軟らかく耕して作った畝に、かぼちゃ、キュウリ、ミニトマト、そら豆、ナスなど野菜の苗を植え付けました。

今年の8月は異例の31日連続で30℃以上の夏日（東京）だったと報じられたところですが、遮るものが少ない屋上では、ひととき日射と照り返しが感じられ、まさに「酷暑」。庭園で作業する際は日傘や麦わら帽子が欠かせませんでした。土壌からもどんどん水分が蒸発していくため、1日3回の水まきは必須で、畑に張り巡らせたホースと電動弁で自動水まき機を活用しつつ、ホースが届きにくい箇所には利用者様にも水まきのご協力をいただきました。

「大輪のヒマワリがもう種を作って下を向いてるわね」、「あのゴーヤは食べごろじゃないかしら」、「すごいキュウリがなったわね」、「オクラはまだできるわね」と夏野菜の収穫を気にされているご入居者様も少なくありません。また、今年はナスに初挑戦だったので、ご入居者様も暑いまなざしを注いでいらっしゃいました。その結果、写真の通りたっぷりの水と太陽を浴びて青々しく育った野菜が出来上がりました。今年の枝豆は1.9キロと豊作で、ズンダにして皆様にもふるまう予定です。

今回だけでなく4階で採れた作物は定期的に厨房で調理し、お出しして目でも舌でもお楽しみして頂く予定です。今後もロイヤル園芸倶楽部にご期待ください。



写真=昼食 (2023年8月14日)
かつ丼、スパゲティーサラダ、フルーツ、すまし汁

今月のトピック

夏野菜とれました

アフターコロナの現状

委員会活動報告(危機管理委員会)

営繕石原の園芸日記

アフターコロナの現状

平川 昌史
2023年9月7日



写真= (2023年8月30日) ゾーン内にてPPEを着用している様子

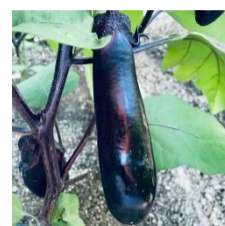
日本では大型連休が明けた5月8日に、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行しました。引き続きマスクを着用している人が多数をしめしますが、今年の大規模連休中には全国各地の観光地が久しぶりににぎわったとのニュースも多く伝えられ、日本もようやく「ウィズコロナ」から「アフターコロナ」に転換しつつあると感じています。しかし当施設及び関連の医療施設では以前の2類相当の状況と同様程度の対応を実施し、感染拡大をおこさない様日々注意喚

起しております。ただご入居様はコロナ禍にて3年ほど色々と活動制限を強いられてまいりました。その為ご入居様に以前の様な日常の生活を取り戻していただくため、面会制限の緩和や外部への食事に出かけるなどのレクリエーション活動を行っております。これからの日常生活はコロナといかに付き合い、被害を最小限に抑え、より充実した生活をご入居様に送っていただけるように職員一人一人が心掛ける必要があると強く感じる毎日です。

VOICE

2023年 9月 1 日

・皆様こんにちは、2Fのスタッフです。新型コロナ5類に移行し抒情に以前の日常が戻りつつあります。ご入居様の笑顔が増え、私たちも日ごろの様子が増え、大変うれしく思います。今後も全スタッフが協力し皆さまが安心して過ごしていただける様、鋭意努力してまいります。宜しくお願いいたします。



・皆様こんにちは。長雨の季節ですがいかがお過ごしでしょうか。面会制限が緩和され、ご入居様もご家族様にお会いできる頻度が増え、安心されているように感じます。今後も、年間行事やレクリエーションが開催される予定ですので、少しでもコロナ前の状況に近づいたらいいなと思っています。



振り返り

岡 聖史
2023年 9月 1日

不徳の行為に対して誰でも容易に罰を与えられる世の中になりました。正しさを掲げて相手を罰する行為に夢中になる事を「正義中毒」と呼ぶようです。相手を罰する際は、麻薬接種と同等の快楽が得られ、自身に不利益があっても他者を罰したいと思うようです。「正しい事を主張しつつも私心を捨てることが重要」という教えが示すように、中毒回避には冷静さが不可欠だと考えました。

営繕石原の園芸日記 2023夏



酷暑の毎日ですが夏野菜を食べてますか！ゴーヤ、キュウリ、ピーマン、トマト、ナス、オクラ等立派に獲れました。枝豆が実りだしてもうすぐ入居様と一緒に収穫し、ズンダ風お菓子を作る予定です。今年も庭園の入り口には朝顔たちがむかえています。大輪の向日葵もドーンと、通路にも色とりどりの夏の花が一生懸命頑張ってます。こんな花たちと酷暑を乗り切っていきましょう

← 写真=ズンダ収穫 (2023年8月30日)

委員会活動報告 (危機管理委員会)

宮井 俊
2023年8月31日

危機管理委員会のホーム内での構成メンバーは、施設長・副施設長・看護係長・各フロアマネージャー・ケアマネジャーで構成されております。毎月一回開催される、運営会議時に以下のテーマに関する内容を検討しております。①事故・ヒヤリハット報告：事故及び、ヒヤリハット報告の内容に対して原因と対策を検証し再発防止に努めています。②身体拘束に関して：やむを得ない拘束について実施状況と

廃止に向けての検討を行っております。③感染症発生報告：感染症の継続中、及び新規発生の感染症の確認を行っております。④褥瘡報告：皮膚トラブルとしての褥瘡の発生報告と継続中の状態報告を行っております。⑤栄養管理報告：毎月の食事・水分摂取量のチェックを行い、それに伴う栄養状態の確認を行い、特に低栄養状態のリスク管理を行っており、場合によっては食形態の見直しや

栄養補助食品等の提案も行っております。また、上記したテーマに関して、必要ならば教育委員会とも連携して施設内勉強会等も開催しております。このように、危機管理委員会をとおして各スタッフと情報を共有することにより、ご入居様が安心して過ごして頂けるように取り組んでおります。